

気付かぬ内にHしてた話

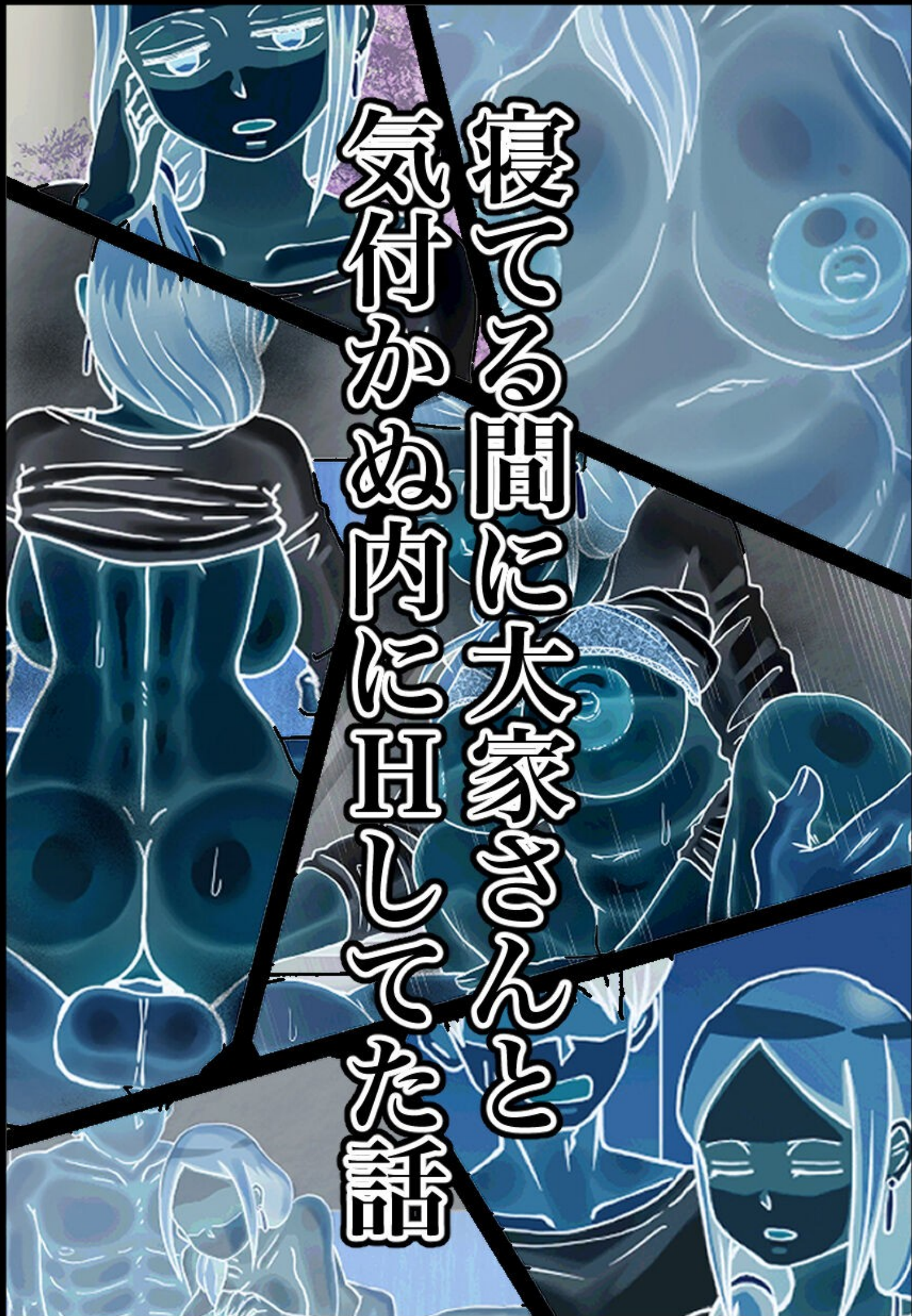
寝てる間に大家さんと



「これ...私が作って
きたから...食べて...」

「私...もうこれ以上
我慢できないの...!」

寝てる間に大家さんと
気付かぬ内にHしてた話



一ヶ月前俺はこの
街に引っ越してきた

あ…よかった…
まだ持っていかれてない

チュン

チュン

チュン

ちゃんと出しておかないと
部屋が臭くなるからな…

引っ越してきた初めの頃は
町内のルールやら何やらで
大変だったが…

引っ越しから一ヶ月経過した
今ではほとんどの事に慣れ
普通に生活を送っていった

ガッサ

あら…
早いね〇〇君…

！
しかしいつまで経っても
慣れない事がある…



あ…大家さん…!!
おはようございますー

そう…大家さんである



前にも言わな
かったかしら?

私のことは大家さん
じゃなくて水鳥川さんって
呼びなさいって……

うえっ……

ああ…はい…
すみません……

借りているアパートの大家
みどりかわ ちとせ
水鳥川 千歳 (30)



俺は大家さん…もとい
水鳥川さんが少々苦手だ

私大家さんって呼ばれるの
好きじゃないから……

水鳥川さんって
呼びづらいなら
千歳でもいいわよ

この人はなにかと俺に
つかかってくるのだ

出勤しようとする
必ず朝鉢合わせたり…

あら
おはよう

朝から顔色悪いわよ
ちゃんと朝食食べてる？

食べてない？
駄目よそれじゃあ
朝食は一日の…

随分と遅かったのね
最近働きすぎじゃないの？
身体の事を考えたら？

またコンビニ弁当？
身体に悪いわよ？

何をするにしても
注意をされてしまう…

思い返せば大家さんと
初めて顔合わせをした時
一分ほど俺の顔を見て
固まってたっけ…

大家さん？

………

………

大家さん！？

俺は知らないうちに
大家さんに失礼なことを
してしまったのだろうか

別に大家さんの事を嫌っている訳ではない…
ただ色々何をするにしても注意されるのが
少々苦手なだけだ…

………？

何人の顔をジロジロと

それに大家さんというのはだいたい
おじさんおばさんだと思っていたから
初めて顔を見た時は想像よりも綺麗な
女性だと驚いてしまう程だった…

それより時間は
大丈夫なの？

そうだった……！
やばいやばい！

こんなところで
油売ってる余裕は
あるのかしら？

……

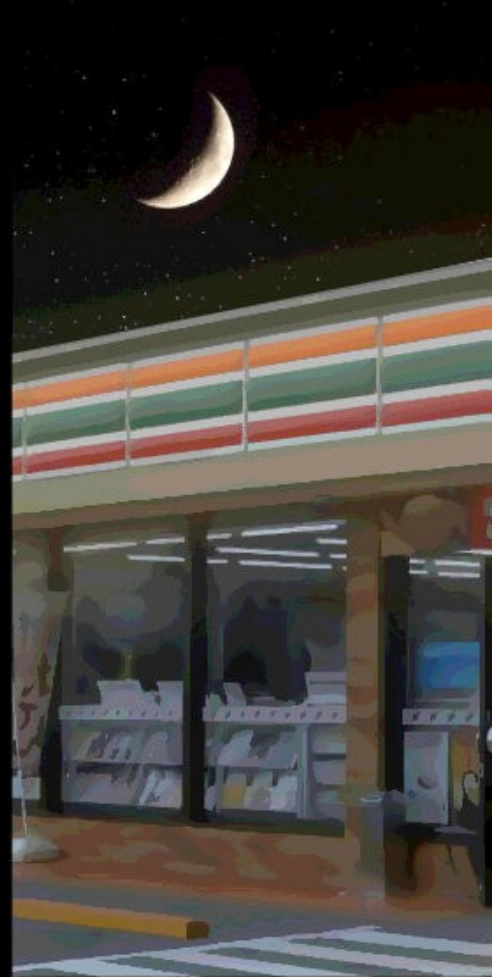
で……では失礼します！
大家さ……いや水鳥川さん！



夜
22時

はあ……
やっと終わった……
でもこれでしばらくは
楽になりそうだな……

それにしても
今日は疲れた……
とっとと帰るか……

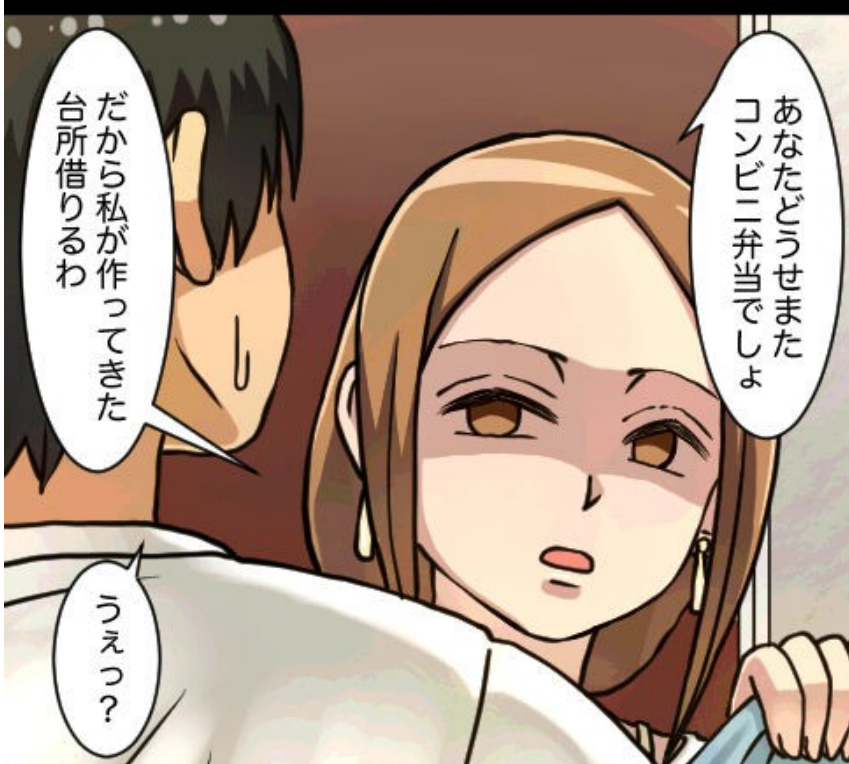




これって...

え...

これ



あなたどうせまた
コンビニ弁当でしょ

だから私が作ってきた
台所借りるわ

うえっ？



...やっぱり...
思った通り...

私言ったわよね
身体に悪いって...

最近忙しかったんでつい...

う...いや...
はい...すみません

そう...なら...



はい...どなた...

って...

大家さ...じゃなかった
水鳥川さん...？

こんばんわ

今日もまた
随分遅かったのね

ど...どうしたんです？
こんな夜中に...

え…

い…いやいやいや！
そんな…悪いですって！

何？嫌なの？

いや…嫌では
ないですけどお…

で…でも…

流石に水鳥川さんの旦那さんに
申し訳ないっていうか…

……

別にいいの…
そんな事にしなくても

これからは私が
晩御飯の用意を
しておいてあげる

ええええええええええ！？

それからというもの
世話好きな性格なのだろうか

水鳥川さんは毎日のように
晩御飯を用意しに来てくれた

それどころか晩飯と一緒に食べるようにもなり
水鳥川さんがまだ若いというのもあってか時々
この人を意識してしまうこともあった

しかし水鳥川さんは既婚者…
変な気を起こさないよう注意したが
俺も男…この人の何気ない仕草や格好に
反応してしまう日も少なくなかった…

それにしても何故
この人は結婚しているのに

毎晩俺と一緒にご飯を
食べるのだろうか……

モグ

モグ

俺としては暖かい食事を
こんな美人と一緒にできるから
ありがたいことなんだが……

もしかして旦那さんと
上手くいってないのだろうか……

避難所として俺を利用
しているのかもしれないな……

でもあまり余計なゴタゴタには
巻き込まれたくないと思っていた
俺は水鳥川さんにそのことについて
追求することはなかった……

……



おやおや...〇〇君...

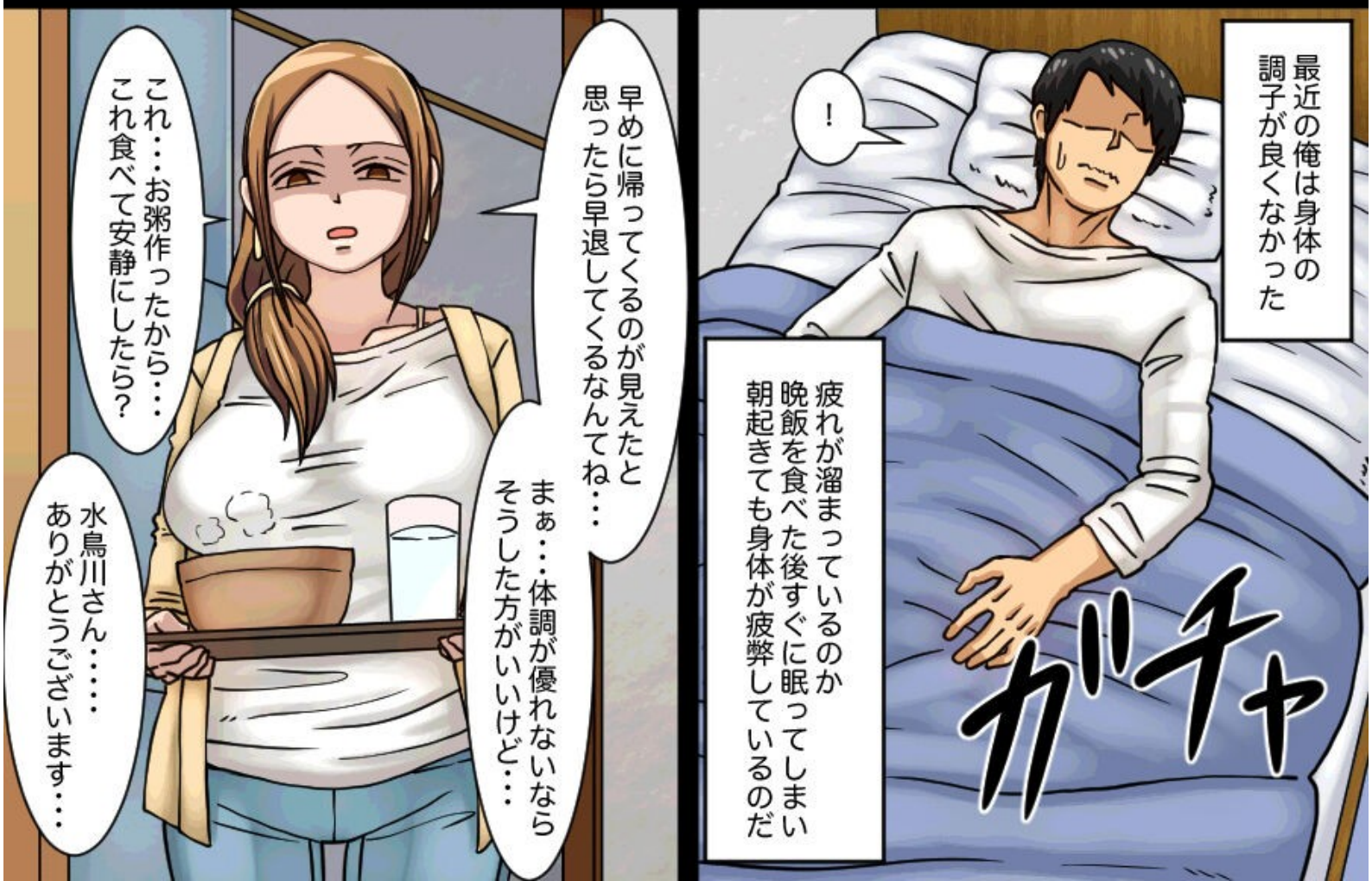
なんだか最近やつれてるみたいだけど

君...大丈夫かね...

あ...はい...

大丈夫ですよ...全然元気なんで...

いやいや大丈夫じゃないからその顔!今日はもう帰りなさい!



最近の俺は身体の調子が良くなかった

疲れが溜まっているのか晩飯を食べた後すぐに眠ってしまった朝起きても身体が疲弊しているのだ

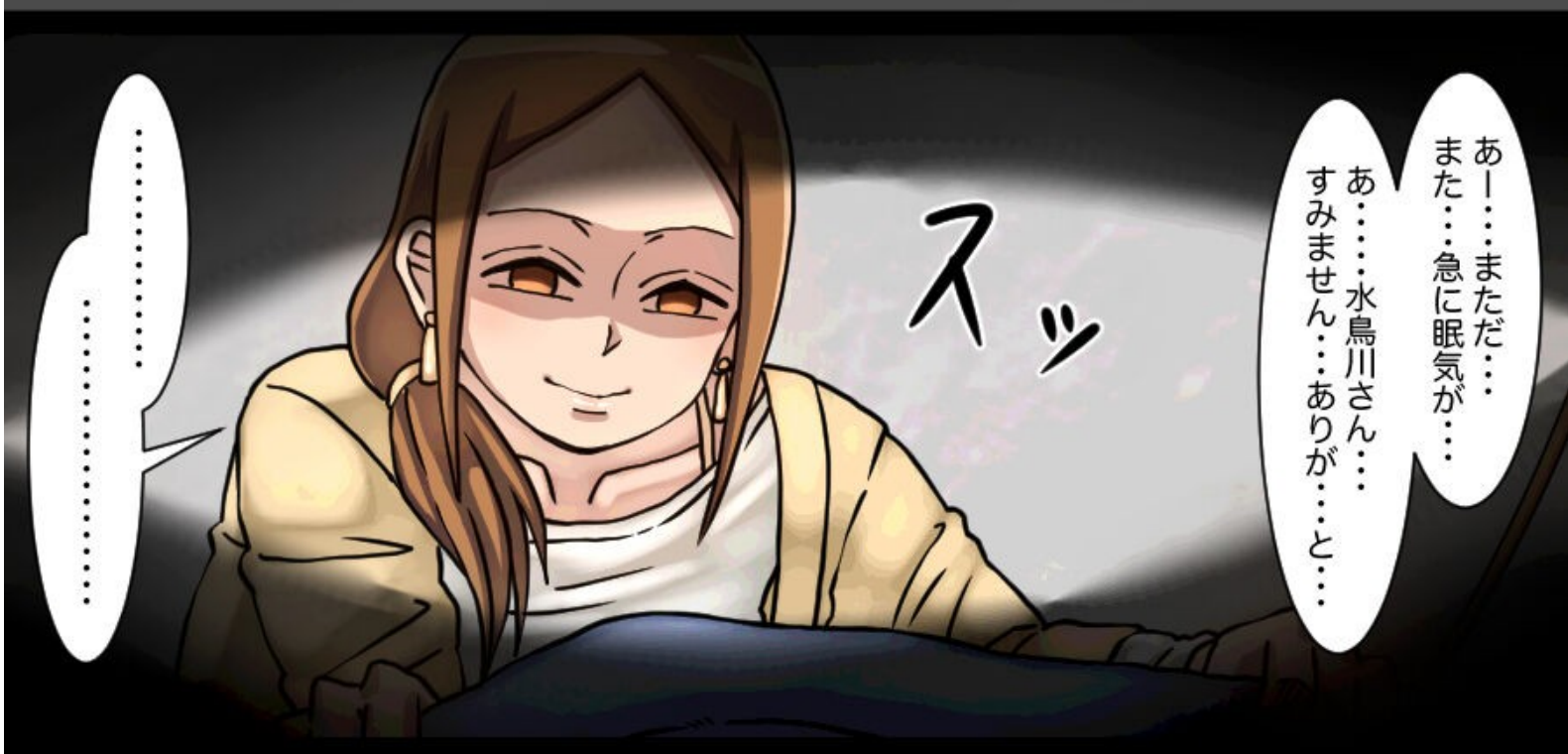
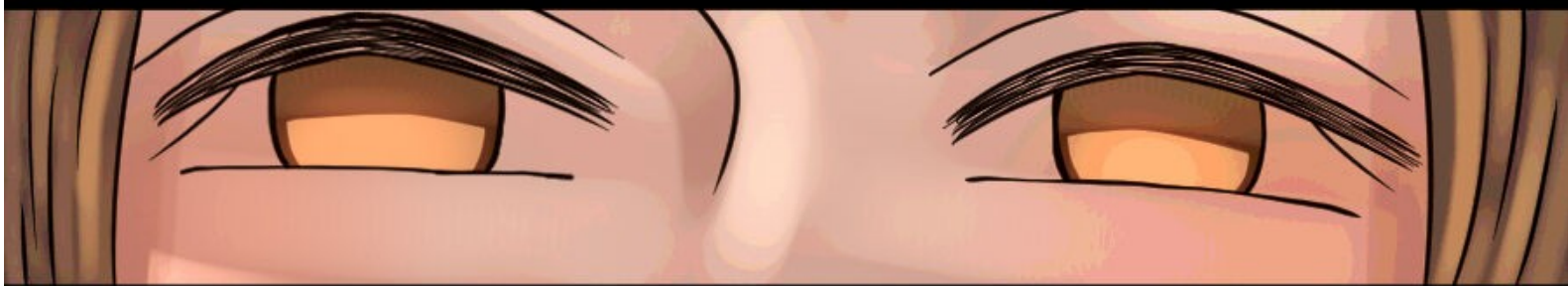
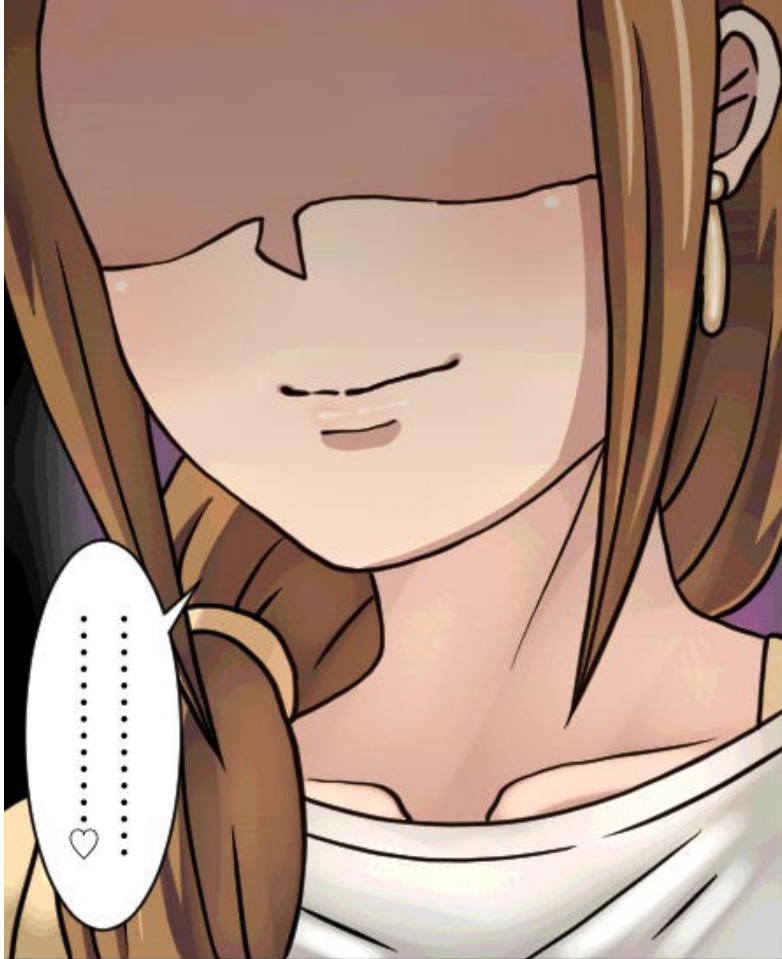
早めに帰ってくるのが見えたと思ったら早退してくるなんてね...

まあ...体調が優れないならそうした方がいいけど...

これ...お粥作ったから...これ食べて安静にしたら?

水鳥川さん...ありがとうございます...

ガチャ



グッポッ グッポッ

ん♡

ん……

あれ……俺……
またいつの間に眠って……

………？

なんだこの音……それに……この感覚……
すごく……気持ちがいいような……

ん♡

ジュポッ

ん♡

ん♡

グッポッ

ジュポッ

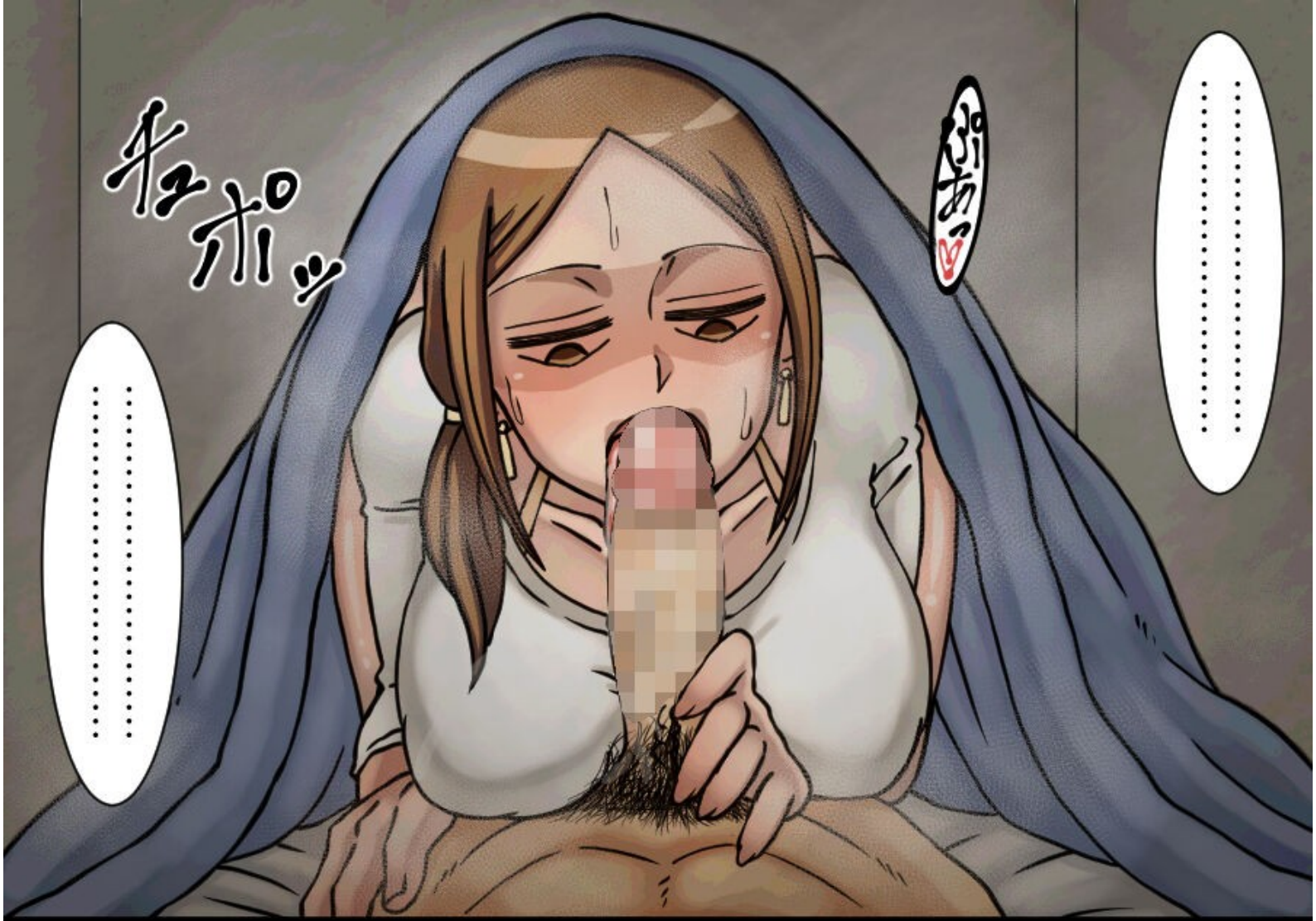
ん？

……そうだ……俺……水鳥川さんが
作ってくれたお粥を食べて……

グッポッ

ん♡

………



キョッ

おあッ



変ね...いつもと
同じ量を入れたのに...

あら
あは...おきひやつた
は...?

え!?!お...同じ量!?!
な...なんのこと...!?!?

おあッ

し

ロォ



君とこういうことがしたかったから……

ア

ガッ

ガッ

ガッ

え……は!?

な……なんで!?
なんで俺と!?

それとも嫌だった?
私とこういうことするの

い……嫌ではないですけど……!
意味が分からない!?

何が?

ガッ

そもそも水鳥川さん旦那さん
いるじゃないですか!

何がって……俺水鳥川さんと
そういう関係じゃないですよ!?

ゴ

チュ

駄目ですって……こんな……
浮気みたいなの……!



うあっ！

あっ……♡



み……水鳥川っ……さんっ！
マズイですよ！こんなの……！

フッフ……

そういうバカ
真面目な所もそっくり……
ほんと生き写しね……

でも……
しょうがないでしょ……

だってあなた……亡くなった
夫と瓜二つなんだもの……

そうね……確かに浮気は
いけないこと……

ア
ル
ル
ル
ル

！？



夫が五年前に亡くなってからというもの...

ずっと欲求不満だった...

でも愛した人以外と性行為したくない...

そんな中君と出会ったわけ...

うあっ!



夫と姿...声...性格まで瓜二つの君と...そんなの...

そんなの我慢できるわけじゃないじゃない...!

五年！
五年よ！？

五年間ずっと我慢
してたんだから！

私だって容姿が
似てるだけで
こんなことしない！

でもあなた声も性格も
あの人そのものなんだもの！

私だって
女なの！

したくてしたくて
たまらなかったの！

だからこそ初めて君を
見た時は驚いたわ……！

み……水鳥川さっ……！
だ……駄目ですって……！

もうそこまで同じだと
私からしてみれば
あの人同然なの……！

夫が化けて出て
きたと思うほど……！

コッッ

ス
プ
ッ

コッッ

ス
プ
ッ

グ
ギ
ュ
ッ

グ
ギ
ッ

ほらあ…
ねえ…
こっち
向いてえ

パンッ

私の顔…
私の目を見つめながら
膣内にあなたの精液
流し込んでえ…

ほら舌出して！
濃厚ペロチューで
口の中も犯して！

しロォ

パンッ

あはっ！感じる！

み…水鳥川さん！

水鳥川さん！

パンッ

あなたの精液が
迫り上がって
きてるのがわかる！

ムニ

プルッ

ネット

もう…駄目です！
げ…限界…！

あなたの精液
私の赤ちゃん部屋に
流し込んでえ！

アッチュ

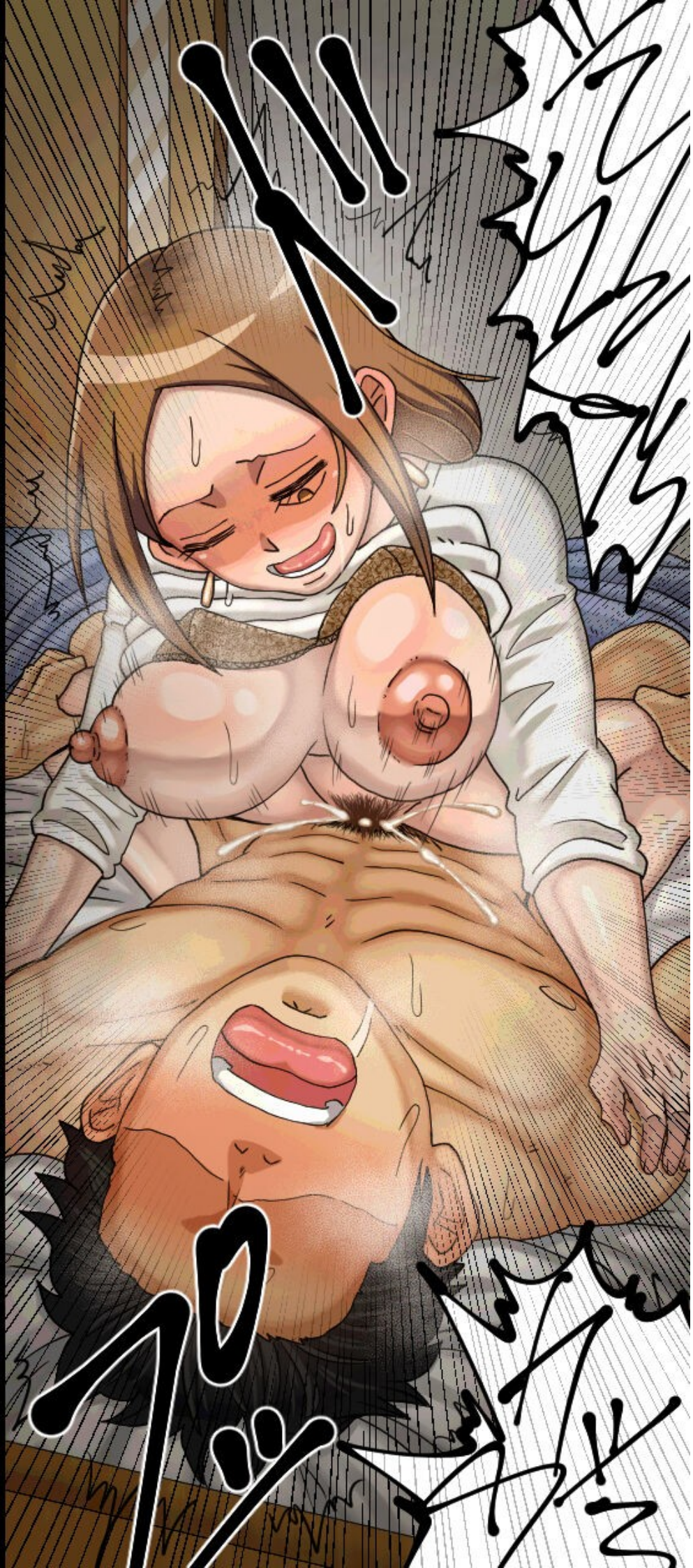
イク

アッチュ

イク

アッロツ





チュン

チュン

チュン

…睡眠薬の事…
ごめんなさい…
その…悪気は
なかったの…

今まで我慢してきたせいで
一度スイッチが入っちゃうと
もう性欲を抑えきれなくて…

い…いや…
俺の方こそ…

なんか…流れて
思い切り膣内に
出しちゃって…

その…
すみません…

いいの…
私のせいなんだし

…ちなみに俺が寝てる時
コンドームの方は…？

…
つけないで…
そのまま膣内に…

ああ…
そ…そうですか…

でも…別に〇〇君が
気にすることはないのよ

君に悪気はないんだし
私が勝手にした事なんだから

ニギ

ニギ



…〇〇君が
いいのなら…
喜んで…!!!

ムラ

…!!!
ムラ



水鳥川さん!

ガッ
ハッ
ツ



わ…
分かりました…

ガッ

シッ

でも…都合のいいセフレ
なんて関係は嫌です…

だから…

もしもの場合…
俺にも責任を
取らせて下さい…!!



だからお願い…
私の事は都合の
いいセフレとでも
思ってくれていいから…

これからも…
私の相手に
なってほしい…

……………



水鳥川さん…下の名前…
なんでしたっけ…?

………
ち…千歳…!!

千歳…
水鳥川 千歳

これから毎日俺の
精液を流し込んで
やるからな…!!

か…覚悟しろよ!

ええ…!!!
期待してる…
〇〇君…♡

ドキ

ドキ

ドキ

トロ

ドキ

ドキ

つづく

みどりかわ ちとせ
「水鳥川 千歳(30)」

- 表情や態度から冷たい性格
だと思われやすいが実は面倒見
の良い性格
- 胸はIカップだが少々垂れ気味
- 陰毛濃い目
- 乳輪大きい目
- 昔はスレンダーだったが
今は少し肉が付いている
- 職は在宅ワーク



「主人公」

- 仕事で1ヶ月前に引っ越してきた
- 仕事以外では家でゴロゴロしている

